

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	28001	畜産競争力強化対策整備事業	室名	農政室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	03:農林業の振興	款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:農業経営の安定化	項目	01:農林水産業費
	戦略プロジェクト	-	目	04:畜産業費
事業予定期間	H 28 ~ H 28 年度	主な根拠法令要綱等	畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業実施要綱	

② 目的・概要	対象	地域畜産クラスター協議会
	目的	地域畜産クラスター協議会が畜産クラスター計画に基づき実施する事業に対し支援を行い、地域ぐるみでの高収益型の畜産の実現及び持続的な酪農・畜産の維持に寄与し、亀山市における畜産振興を図ることを目的とする。
概要	協議会構成員が、生乳生産・子牛生産の拡大、飼養管理の効率化・衛生管理の徹底を目的として行う畜舎の増設に伴い整備する糞乾燥ハウスの建設に要する費用に対し、財政的支援を行う。	

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	事業の計画	畜産競争力強化対策整備事業補助金交付				
		事業費	14,700千円			
		国庫支出金				
		県支出金	14,700千円			
		地方債				
		その他				
		一般財源	0千円	0千円		
		事業費	14,620千円			
		国庫支出金				
		県支出金	14,620千円			
地方債						
その他						
一般財源	0千円	0千円				
期間内総事業費(H27・H28)①		14,700千円	期間外事業費(H29以降)②	0千円	総事業費 (①+②)	14,700千円

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
④ 指標	①	名称	補助金交付件数	活動 計画値		1
		補足			単位	件
	②	名称		計画値		
		補足			単位	
	③	名称		計画値		
		補足			単位	
	④	名称		計画値		
		補足			単位	

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産産部		
	28001	畜産競争力強化対策整備事業	室名	農政室		
	施策体系	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財	会計	01:一般会計
		基本施策	03:農林業の振興	務	款	06:農林水産業費
施策の方向		02:農業経営の安定化	科	項	01:農林水産業費	
	戦略プロジェクト	-	目	目	04:畜産業費	

② 目的・概要	対象	地域畜産クラスター協議会
	目的	地域畜産クラスター協議会が畜産クラスター計画に基づき実施する事業に対し支援を行い、地域ぐるみでの高収益型の畜産の実現及び持続的な酪農・畜産の維持に寄与し、亀山市における畜産振興を図ることを目的とする。
	概要	協議会構成員が、生乳生産・子牛生産の拡大、飼養管理の効率化・衛生管理の徹底を目的として行う畜舎の増設に伴い整備する糞乾燥ハウスの建設に要する費用に対し、財政的支援を行う。

		27年度	28年度
①	名称 補助金交付件数	計画値	1
	補足	実績値	1
		単位	件
②	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	
③	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	
④	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	

年度計画				年度実績				
畜産競争力強化対策整備事業補助金交付				畜産競争力強化対策整備事業補助金交付				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	14,700	予算額	14,620	決算額	14,600
		国庫支出金			0	0	0	
		県支出金	14,700	14,620	14,600			
		地方債		0	0			
		その他		0	0			
		一般財源	0	0	0			
		再	翌年度への繰越額		0	0		
		掲	前年度からの繰越額		0	0		
		総人件費			①	1,465		
		総コスト			⑥	16,065		
	総人件費				①	1,465		
	一般職員人件費				②	1,465	平均給与額×③	
	所要人員				③	0.20		
	臨時職員人件費				④	0		
	受益者負担額				⑤	0		
	受益者負担率					0.0%	⑤ / ⑥	

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	地域畜産クラスター協議会を通して、協議会構成員における糞乾燥ハウスの建設への財政的支援を行うことによって、地域ぐるみでの高収益型の畜産の実現及び持続的な酪農・畜産の維持に寄与することができた。	総合判定	A
	【反省点・課題】	地域ぐるみでの高収益型の畜産の実現及び酪農・畜産の維持のためには継続的な支援が必要であり、今後も三重県をはじめとした関係機関と連携し、必要に応じた支援を展開していく必要がある。		順調に進んだ
	【改善の方向性】	畜産関係事業等について地域畜産クラスター協議会及び三重県その他関係機関との情報共有を行い、適切な事業活用に繋げる。		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 農政室長 谷口 広幸	